J－Font．COM

開設5周年を記念

○…シヤチハタ…○

筆文字フォント擬人化コンテスト

シヤチハタ株式会社（舟橋正剛社長、名古屋市）は、2019年3月に開設した、筆文字を通して豊かな表現を実現するフォントサービス事業「J-Font.com（ジェイフォントドットコム）」の開設5周年を記念し、株式会社ｖｉｖｉＯＮ（ヴィヴィオン）が運営する若手クリエイターが2万人以上集まるクリエイタープラットフォームGENSEKIで、「筆文字フォント擬人化コンテスト」を開催し、3月23日より募集を開始、5月15日まで応募を受け付けている。

J-Font.comは、広告媒体やメディア、プロモーション活動や書籍、デジタルコンテンツなどに幅広く使える筆文字フォント（72書体）を提供するフォントサービス事業。伝統的な表現から先進的でモダンな表現まで、あらゆる用途でクリエイターが活用している。

今回開設5周年を記念して、より多くのクリエイターに白舟・昭和フォントを活用してもらうため、「筆文字フォント擬人化コンテスト」を開催。J-Font.comが提供する豊富な書体の中から、今回コンテスト審査の対象となる6書体をそれぞれ擬人化したイラストを募集し、入賞作品にはそれぞれ賞金（大賞30万円）を贈呈。また、選ばれた作品はJ-Font.com公式サイトおよび販促などで活用される。

カフェでデコ体験イベント

また、同社は3月27～31日、東京都中野区のカフェ「アネアカフェ中野新橋」で、手帳やノートのアレンジが手軽にできる「allemore（アレモア）」シリーズのスタンプを使ったデコレーション体験イベント「allemoreで彩る＃今日のアネア スタンプdeco」を開催した。

同イベントは、「もっと身近に」「もっと手軽に」「あれもあるこれもある」をコンセプトとして、2023年に登場したブランド「アレモア」シリーズのスタンプを来店者が自由に体験できる。来店客は店内の各座席にあるカードにその日注文したメニューや日付などを記入、4つの異なる絵柄のスタンプがひとつになったコンパクトなスタンプ「ノトト　ジョイン」と、コンパクトなローラー型スタンプ「ノトト　ローラー」などを使って、スタンプデコを楽しんでいた。

11月15日（いいインコ）は「いいインコの日」
sedia
since 1932
www.sedia.co.jp

新しい働き方提案

オカモトヤ　女性活躍推進事業で

新オフィスにセルフメンテナンスルーム

株式会社オカモトヤ（鈴木美樹子社長、東京都）は、今年1月に本社を東京都港区の虎ノ門ステーションタワー9階に移転、新しいライブオフィスを「palette（パレット）」として運営しているが、このパレットに同社が展開する女性活躍推進事業「Fellne（フェルネ）」が提案する「セルフメンテナンスルーム」がお目見え、「働く空間」と「働かない空間」を融合した新しい働き方を提案している。

「セルフメンテナンスルーム」は、同事業内のプロジェクトであるオールジェンダートイレの考え方「後ろめたさの解消」を実現するため、休憩スペースをエリアで区切るのではなく、通常執務するオフィス内に設置され、入口と出口を分けることで使用者同士が顔を合わせないで済むように工夫されている。3つのタイプがあり、「リラックスしたい」「少し仮眠したい」「ホットフラッシュによるほてりを落ち着かせたい」など、用途や体調に合わせて選択できる。

同時にオープンバー形式の「アメニティバー」も併設。アロマディフューザーやストレッチ器具などのアシストグッズとマウスウォッシュやリフレッシュシートなどのアメニティグッズを取り揃え、社員は就業中であればいつでも利用できる。

なお、同社は3月8日の国際女性デーに「Palette」を会場に、働く女性の快適アイテムやサービスを紹介する展示会、働く女性の健康課題やキャリアなど各分野の最新情報を届けるセミナー、「共働き・子育て」をテーマにしたトークショーの3つのコンテンツで構成したイベント「Fellne Fes.」を事前予約制で開催、約90社154人が来場した。

ニコニコ超会議にブースを出展

サンエックス

サンエックス株式会社（千田洋史社長、東京都）は、4月27～28日に幕張メッセで開催されるサブカルチャーの祭典「ニコニコ超会議2024」に参加し、ブースを出展する。

昨年は20周年を迎えた「リラックマ」のブースとして参加したが、今年はより規模を拡大し、「たればんだ」「リラックマ」「すみっコぐらし」などの人気キャラクターが揃う「超大集合スペシャルステージ」を実施する。当日はオリジナルグッズの販売も予定。

電気バス車両にすみっコぐらし

小田急グループの立川バスが初導入する電気バス車両内外に「すみっコぐらし」のデザインが採用された。車内には「カプセルトイ」の販売機が設置され、電気バスと「すみっコぐらし」がコラボした商品が限定販売になる。バスは3月27日より運行開始している。

すみっコぐらしの電気バス

セキセイ

西川雅夫会長が日本酒を創作

輪島塗創作師・東山雅風こと、セキセイ株式会社の西川雅夫会長が、日本の素晴らしさ「和敬静寂」の精神を世界へ発信しようと、日本酒「雅風」を創作して販売している。

純米吟醸酒Red Fuji「雅風」（300ml、1100円）と、純米酒Great Wave純米酒「雅風」（同、990円）の2種類。

ギフトボックスに2本をセットした飲み比べ紅白セットは、ギフトボックス入りで2200円。税込。

問合せは、同社雅風酒販部☎06（6621）2331。

イバンウド需要に対応したラベルデザイン

1位は「GPS」

コクヨが小学校の新入学準備アンケート

購入して良かったアイテム

「Hello! Family.」シリーズを通じて、家族の見守りやコミュニケーション、習慣化のサポートなどに取り組んでいるコクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、新入学シーズンを前に、小学校の新入学準備に関するアンケート調査を実施した。

「小学校への入学で不安なこと」は、「安全に登下校できるか」が全体の7割を占め、次いで「友達ができるか」「授業についていけるか」が上がった。

子どもの年代別に見ると、年長（新小1の子ども）を持つ親の84・6%が「安全に登下校できるかが不安」と回答しており、他の年代を持つ親に比べ、初めての登下校に対しての不安を強く感じていることがわかった。

「購入して良かった入学準備アイテム」は、一番多かったのは「GPS」で12件、次いで「お名前シール・ハンコ」9件、「ランドセルカバー」5件が上がった。このほか、フリーコメントでは防犯ブザー、名前入り鉛筆、電動鉛筆削り、ランドセルなどに付けるチェストベルト、ローラー付きの棚（ランドセルや体操服等必要なものを置く）、キッズケータイ、スマホが上がった。

「現在使っているデバイス」は、小学校低学年のうちはGPSの使用率が高く、高学年になるにつれてスマホの使用率が高い結果に。また、子どもにスマホやキッズケータイを使用していない理由については、「まだ必要性を感じないから」「スマホ依存症が心配だから」という声が多く上がった。低学年のうちは、機能がシンプルで居場所が分かるGPS、高学年になると使える機能が増えるスマホを持たせるようにしている。見守りGPSに求める機能としては、「過去の経路が分かる」が最も多く、現在地だけでなく、「きちんと通学路を通って帰ってきているか」など、過去の行動についても確認したいと考えている親が多いことがわかった。

2024年2月新発売！
黒 玄宗
墨 液／濃墨液
各500ml
作品用・合成糊剤使用
墨運堂 検索

玄宗シリーズ
Since1972
株式会社 墨運堂
創業文化二年(1805年) 墨づくり二百余年
奈良本社・工場／東京店／福岡(営)
(本　社)　〒630-8043　奈良市六条1-5-35　TEL：0742-52-0310　FAX：0742-45-6880

HAGURUMA

心まで、かるく。
JETSTREAM
Lite touch ink
uni MITSUBISHI PENCIL

もっと、かろやか。
書き出しから、驚きのスムーズさ。
もっと安定。もっと集中。
インクボテや紙すべり※をさらに低減。
※紙質等の条件によりボールがすべり、筆記しにくい現象
手放せない、なめらかさ。
ただ、軽いだけじゃない。ジェットストリームらしい書きごたえ。
書く。この行為の繰り返しで人は前に進むのだから。
その瞬間が、心地よく、かろやかであってほしい。
だから「JETSTREAM Lite touch ink」は生まれました。
書き出しから、驚きのスムーズさ。
すっきりとしていながら、忘れられない書きごたえ。
ペン先から、こころはずむ毎日を。
MITSUBISHI PENCIL CO., LTD.